

実践報告

ブックカバー作成プロジェクト

私は図書館ボランティアグループ「ライブラリー・メイト」に所属しています。ライブラリー・メイトは、「学生の目線から図書館のよりよい環境づくり」を目指して活動しています。今回は活動の1つ「ブックカバー作成プロジェクト」の紹介をさせていただきます。

このプロジェクトは、「本をもっと読みたくなるように、読むのが楽しくなるようになってほしい」という思いで、2017年9月に始動しました。私のほかに、人間文化学科1回生のK.K.さん、同じく1回生のM.Y.さんが参加しています。3人でブックカバーのデザインを考え、2017年12月20日に行われたノートルダムクリスマスで希望者に配布しました。

サイズは印刷しやすいようにA4サイズとなっており、文庫本と新書に使えます。

デザインはクリスマスイメージしたデザインを含め、A・B・Cの3種類作成しました。A・Bには、3冊の貴重書の絵を使用しております。貴重書とは、資料的に価値が高く、希少性の高い図書のことで、図書館においては一般資料とは区別して扱われます。今回利用したのは、19世紀後半にイギリスで出版された図書です。またB・Cには、キリスト教サークルの英語英文学科1回生、鵜ノ口菜々子さんのご

協力で、クリスマスをイメージした絵を描いていただきました。それぞれの絵に合わせて、新約聖書「ルカによる福音書」よりみ言葉を引用しました。どちらもキリスト誕生にまつわるみ言葉となっております。

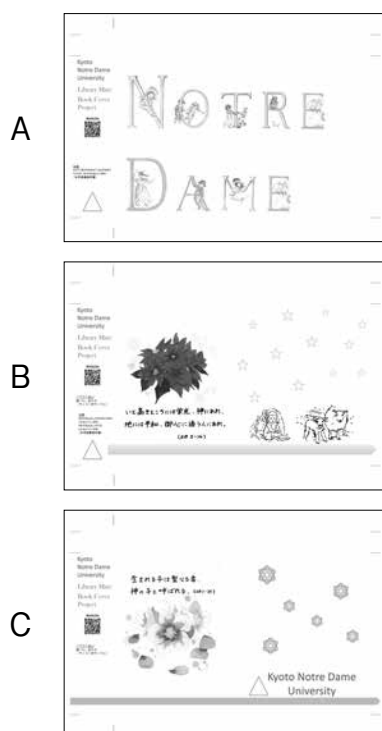
これらのブックカバーは、ノートルダムクリスマス当日に、ユニソン会館1階にて約300枚配布いたしました。今回は第1弾ということもあり、20セット限定で和紙に印刷したものを用意しました。当学院の小学生から大学生まで、また保護者の皆様や教職員・シスター方にも喜んでいただきました。



また、大学図書館のホームページ (<https://opac.notredame.ac.jp/drupal/?q=ja/node/22>) にて紹介しています。そこではブックカバーをダウンロードすることができるようになっておりますので、ノートルダムクリスマスにお越しにならなかった方もお楽しみいただけるものと思います。

ノートルダムクリスマスが終わり新年を迎えた今は、季節を問わず使えるブックカバーをデザインすることを考えています。

website



(鈴木 佳奈子 人間文化学科3年次生)